

ゆめだより

第2号



寒さに負けず
可憐に逞しく

平成23年12月発行

発行所 社会福祉法人松本ハイランド
〒390-1242 松本市大字和田 2240-33

Tel 40-3377 Fax 40-3370

<http://www.yumenosato.info>

『ビオラ』 ——

冬の草花の代表格で、パンジーより強健で花立ちも良いと言われています。

J A松本ハイランド朝日支所管内にある野菜育苗センターで、毎年クリスマス前後に合わせてチューリップ、ビオラが育てられ出荷されます。

寒い冬に耐え、春まで花を咲かせ続ける逞しいビオラ。「介護の日」でもある11月11日の誕生花とも言われています。
(野菜育苗センター内ハウスにて)

快適な生活環境へ

ゆめの里和田で食堂など改修

ゆめの里和田では、ご利用者のみなさんにより快適な生活を送っていただけるようにと、手狭だった食堂の改修など平成十四年四月に開設して以来の大規模な施設改修工事を行いました。

工事は今年五月から始まり、先ず二階の研修室などを居室に改修、一階から十名のご利用者の方が移動して、新たに五町会南のユニットをつくりました。



写真上は5町会南のトイレ付新個室。写真下は5町会南の明るい食堂ホール。



写真上は3町会のゆったり落ち着いた葵ホール。写真左は従来の大ホールをパーティションで区切った会議室。

それによつて空いた居室は、一、二、三町会の各食堂に改修し、ゆつたりとしたスペースの中で、過ごしていただくことができるようになりました。その他トイレの新たな設置、職員休憩室の設置などを行い、工事は十月に終了。
新たな生活空間の中で、より快適に過ごしていただける環境が整いました。

松風園の改修工事也大詰めへ

今年の松風園の一大事業は、およそ一年がかりの施設の全面改修です。
スプリングカラーの新設、ボイラー設備の更新など、大がかりな工事を進めてきました。

十一月にはお風呂・食堂も完成し、本格的な寒い時期を迎える前にまずは一息です。

この工事もいよいよ大詰めを迎え、残すところはあと二棟の改修のみ。来年三月には完成する予定です。



写真上はフローリング張りに新装した集会室。一段と楽しいレクリエーションが行われます。

2月17日に「和田福祉ひろば」で訪問看護ステーションでは地区のみなさんに事業の話をしました。



写真で綴る



地域交流この一年

今年もいろいろな地域交流を行ってきました。その一部を写真で綴りました。



7月31日にゆめの里朝日で「朝日ゆめまつり」を開催。中庭に張った葦簀が雰囲気盛り上げました。

訪問看護ステーションでは9月8日にも「新村福祉ひろば」で地区のみなさんに訪問看護の活動の紹介をしました。



10月16日施設隣のグラウンドで開催された地区の運動会。松風園チームの競技参加もあり、応援にも力が入りました。



11月1日に河西部地域包括支援センター主催の「介護者のつどい」がゆめの里和田で開催され、特養と訪問看護が地域の方々に説明をしました。



10月27日に開催された「ゆめまつり」では、地区の町会長さん方も餅つきで大活躍。美味しい餅が振る舞われました。

事業所から こんにちは

特別養護老人ホーム ゆめの里和田

口腔ケアを研修

十一月二五日に松本市内の

の歯科医師と歯科衛生士を講師に、口腔ケアの研修会を行いました。口腔内の簡単な解剖学と口腔ケアの重要性についての講義、口腔ケアの実践の演習がありました。口腔ケアは介護士にとって常日頃、勉強をしたいと思いますという事項であったので、今回の研修は良い勉強になりました。



ゆめの里和田 デイサービスセンター

瓢箪で節電に協力

デイサービスセンターでは今年瓢箪を育て、幅十センチ高さ三メートル程の緑のカーテンをつくりました。蔓の下はとてもし涼しく、今夏、節電効果も現れました。

大きく育った瓢箪は、中身をくり抜き、乾燥させ、装飾し、立派な置物に仕上げました。ご利用者さんひとり一人が知恵を出し合い、大きな作品が出来上がっています。



身近な問題を介護劇に

福祉相談センター（居宅介護支援）では、河西部地域包括支援センターと合同で、介護劇を通して認知症への理解等の活動を昨年から行っていますが、今年も二月二〇日に新村

居宅介護支援

福祉ひろば「介護のつどい」で「公演」。五〇名を超す参加者も楽しみながら理解を深めていました。

ゆめの里福祉相談センター

バランスよい食事づくりを

「季節の野菜を使ってバランスよい食事を」と、十二月八日南部公民館でヘルパー研修（調理実習）が行われました。

具だくさんのすいとん 漬け魚のホイル焼き等六品の料理が出来ました。

限られた時間の中で、少しでもご利用者様に喜んで頂けるように皆で研修を深めました。



地域密着型
特別養護老人ホーム
ゆめの里朝日

楽しいコーヒー喫茶

毎月二回、「夢あわせの会」のみ
なさんによるコーヒー喫茶が開かれ
ます。

コーヒーの香りが漂うと会話も
弾み時には歌も出てきます。

「今度はいつ来てくれるの?」と、ご
利用者のみなさんは毎回楽しみに
しています。



ゆめの里和田

訪問看護ステーション



今の思いを語り合う

以前訪問看護を利用しながら、ご
家族を介護していた方々と、グリーフ
ケアを兼ねた食事をを行いました。
大切な家族と過ごした日々を胸
に、みなさん前向きに生きていらつし
やる姿が印象的でした。

「グリーフケア」

家族との死別後、遺族が新しい出発が
できるよう支援すること。

ゆめの里朝日宅老所



ゆめの里新村宅老所

花咲くカーテン

いただいた端切れを利用し八
百個の花を作り、カーテンに花
を咲かせました。

大変な作業でしたが、みんな
で協力し根気良く行いました。
南側の窓一面にとっても鮮やか
かで華やかです。

毎日目にするので、いつも話
題にのぼり、ご利用者の意欲・
活力にも繋がっています。

園児の銭太鼓に感激

ゆめの里朝日宅老所では、このほど
朝日村の「あおぞら保育園」の園児の
皆さん十一名によって、銭太鼓を披
露していただきました。

曲に合わせたリズムカルなばちさ
ばきに、ご利用者のみなさんは「よ
く覚えたね」と、感激。なかには涙を
浮かべる方も。最後は一緒に歌を歌
つて交流を深めました。



養護老人ホーム
松本市立松風園

J A女性部からの贈り物

J A女性部入山辺支部のみなさんから、ハクサイやネギ、大根などたくさんの冬野菜を



いただきました。さっそく新しいくなった厨房で調理。冬の収穫をみんなで味わいました。

来年度から改正介護保険制度がスタートします。その中核は、「地域包括ケア」と言われていますが、中身はこれからではないかと思えます。ただ、制度如何にかかわらず「地域」を基本にいた事業展開は、今後間違いない



常務理事

山田 徳彦

く重要性が増すでしょう。当法人は『地域とともに歩み、支え合い、助け合う』

地域とともに成長を

と進めていかななくてはならないと思えます。法人の母体である

ことを理念に掲げ、様々な地域交流事業を行ってきました。しかし、これからは地域貢献や地域生活を支えるといった取り組みをもつ

J Aが、長年培ってきた地域活動を介護分野から支援することも大事な役割です。

法人設立以来十年という節目に、あらためて「地域」という原点に立ち、地域とともに成長していく法人でありたいと思えます。

ホームページ



新しくなりました

- 施設情報一覧
 - ・施設のご案内・施設の目標・ご利用方法
 - ・ご利用料金・交通アクセス
 - 最新記事
 - ・ブログで行事、活動等の情報を紹介
 - 法人概要
- アドレス <http://www.yumenosato.info>

第三者評価を実施中

「特別養護老人ホームゆめの里和田」と「ゆめの里和田デイサービスセンター」では、現在第三者評価機関による評価を実施しています。

評価結果が公表されるのは平成二十四年三月下旬の予定です。

介護のご相談はこちらどうぞ

ゆめの里福祉相談センター
Tel 88-0013



あしがき

二〇一一年を代表する漢字は「絆」。家族の絆、地域の絆、次第に薄れかけていたものを、グンと近くに引き寄せてくれた年でした。失ったものは大きいけれど、その中で、得たものは大事にしたい。いや、大事にしなければならぬ。少しでもそんな役割を果たせる『ゆめだより』にしていきたいものです。